

職位6段階制度



近頃、職員が下げている名札のストラップの色が様々な色のものを付け始めている事にお気づきですか？

私達光葉園では、正規職員、幹部職員の登用試験を開始しています。日々、職員一人ひとりが働く者として将来的希望、目標を持ち従事する事の重要性を感じ、取り組んでいるところですが、それを描ける機会をこの登用試験とし実施し始めています。まだまだ始まったばかりですが、職員一人ひとり認めてもらう為に努力しています。これからストラップの色の違いが出てくると思っています。



【職位6段階制度】

施設長 (白地に赤字)
正幹部職員 (えんじ地に白字)
副幹部職員 (赤地に白字)
正規職員 (橙地に白字)
副正規職員 (黄地に白字)
準職員 (黄緑地白字)



光葉園は心のケアを大切にしています。

その時にはストラップの色だけではなく、職員一人ひとりの技術や知識も成長し、皆さんと接する姿も変化していることを信じて楽しみにして下さい。

種市

介護プロフェッショナル 7段階制度導入

介護プロフェッショナル7段階制度という制度を皆さんは知っていますか？

光葉園では、今年ホーム・ユニット・デイから4名の職員がこの制度の評価者としての資格取得を目指し勉強しています。



介護職員一人一人、介護に携わる為に学び、資格をもち介護を行なっているのですが、この制度は、職員が学んできた介護と日常行なっている介護の、(わかる)と(できる)を評価者が一人一人客観的に評価し、7段階にレベルをわけれる制度なのです。7段階にわけると、なにやらランク付けをしているように感じますが、それは介護をし

ている職員が自分のやっている介護に自信をもち仕事に取り組む事で、利用者の身体状況に合わせた介護ができ、満足していただけるような介護を提供できる事になっていくのです。

これからの介護がよりよいものとなっていく為に作られ、実践されることになった制度といえるのです。

利用者に対しての介護のレベルアップだけではなく、

この制度は一度レベル認定されると、転職の際に自身のジョブカードへ記入する事ができ、自分の技術や能力を証明する事ができるものなのです。



この制度を実施していく事で光葉園の職員一人一人の介護力と職場の質が今以上に向上する事を期待し、お付き合いたいだければと思います。

小野寺